

熊野青藍高等学校に交通安全活動用ヘルメットを贈呈 ～交通事故防止・ヘルメット着用義務化を周知～

日本損害保険協会中部支部三重損保会（会長：藤山 高志 三井住友海上火災保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察本部の協力のもと、三重県立熊野青藍高等学校に自転車ヘルメットを贈呈することとし、9月19日（金）に同校で贈呈式が開催されました。

本取組みは、三重県警察本部が県内に在学する高校生にセーフティ・バイシクルリーダーを委嘱し、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動をしている中、三重損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、同会からセーフティ・バイシクルリーダーの活動用オリジナルヘルメットを贈呈しているものです。

当日は、三重県紀宝警察署の谷口署長からセーフティ・バイシクルリーダー委嘱状の交付の後、日本損害保険協会中部支部の及川事務局長からセーフティ・バイシクルリーダーを委嘱された2名に活動用ヘルメットの贈呈がありました。引き続きセーフティ・バイシクルリーダー2名は、交通安全宣言を述べられた後、紀宝警察署員と一緒に同校の生徒に対して自転車乗車中のヘルメット着用を呼びかけました。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



委嘱状を交付する谷口署長



ヘルメットを贈呈する及川事務局長



セーフティバイシクルリーダーと記念撮影



生徒に交通安全を訴えるセーフティバイシクルリーダー